

日本教育方法学会

第2回大会プログラム

<大会日程>

8.30	受 付	
9.00	自由研究発表 I	自由研究発表 II
12.00		
1.00	総 会	
2.00		
4.30	課題研究 I	課題研究 II

会 期 昭和41年9月4日(日)

会 場 北海道大学教養部(札幌市北17条西8丁目)

午 前 の 部

自由研究発表 I (E203教室)

司会者 名古屋大学 重松 鷹 泰
九州大学 原 俊 之

- 9.00 「自由教育」における教育方法の特徴
—手塚岸衛を指導者とする千葉師範附属小の実践—
東京大学 宮坂 義彦
道立月寒高校 小田切 正
- 9.30 芦田恵之助の教授思想
- 10.00 わが国教育近代化のすう勢とライブラリー
—20世紀初頭における—
信州大学 清水 正男
- 10.30 教授と教授外活動との相互関係について
—Tagesschule の実践に即して—
東京大学 藤田 昌士
- 11.00 マカレンコ教育学における賞と罰の問題
福岡教育大学 藤井 敏彦
- 11.30 学習過程に関する一考察
—へき地学校の実態を通して—
佐賀大学 上野 辰美

自由研究発表 II (E204教室)

司会者 広島大学 佐藤 正夫
北海道大学 砂 沢 喜代次

- 9.00 デューイ学習理論の考察
広島大学大学院 岸 光城
- 9.30 ヘルバルトからヴィルマンへの道
富山大学 溝上 茂夫
- 10.00 エッガースドルファーの教材論
富山大学 高野 兼吉
- 10.30 学習指導における小集団の編成法と運用法について
富山大学 林 三雄
- 11.00 思考過程と過去経験
—授業分析第5次報告—
広島大学教育方法学研究室グループ
(佐藤・吉本・太田・小林・岸
・井谷・豊田・石川・坂本)

総会はE202教室で行ないます。

日本教育方法学会第2回大会のご成功を祈る

日本教育方法学会
の機関誌近く刊行

教育方法第一号

特集 教科内容・指導方法
の現代化

I章 日本の現代的課題と
教育内容の現代化

海老原治善 扇谷 尚
広岡 亮蔵 城丸章夫

II章 指導方法と学習形態
の現代化

川合 章 原 俊之
柳 久雄 佐藤正夫

III章 訓育の内容・方法の
現代化

春田正治 波根治郎
蜂屋 慶 白井 慎

教育方法第二号

特集 授業改造の基本問題

現代中学教育

(月刊)が9月10日
に創刊されます。

明治 東京都中央区入船町三ノ三
圖書 振替東京一五二三八番

課題研究 I 教育方法的諸概念の再検討 (E203教室)

<設定の趣旨>

最近、教育に関する諸概念に多少の混乱や不統一がみられる。それが教育研究の成果の蓄積を妨げている事実もある。たとえば、陶冶・訓育・訓練・教授・授業・学習・思考・認識過程・指導・集団・構造等々の概念にも、いまだ統一的な見解は成立していないと言える。

これらの基礎的な諸概念は、日本および外国においてそれぞれに歴史的な背景を背負って成立し、使用されてきている。これらの事情を明かにしつつ、わが国において統一的な理解をつくり出すための最初の試みとしたいというのが、この課題研究設定の趣旨である。

司 会 者	東 京 大 学	細 谷 俊 夫
	神 戸 大 学	小 川 太 郎
発 表 者	大 阪 学 芸 大 学	恒 吉 宏 典
	金 沢 大 学	中 野 光
	神 戸 大 学	杉 山 明 男
	北 海 道 教 育 大 学	船 山 謙 次

日本教育方法学会第2回大会のご盛会を祝す

小学館版

教育事典

■第四版出来

〔歴史的記述の重視〕

概念の定義はいずれの場合にも明確になされ、歴史的な変遷、現代の課題が詳述されて、専門研究に欠かさない。

〔全体的な展望〕

表現は平明、立場としては客観性を重んじた。特に現代世界の教育動向がくわしく紹介された点は類をみなす。

〔最新用語を網羅〕

索引用語四、〇〇〇—その二割は新語の解説にあてる。

〔巻末付録〕

便利な現代教育史年表と人名解説

〇B5判三五二ページ

○特別奉仕定価 一、五〇〇円

小学館の十大教育誌

総合 教育技術

小学校 教育技術

学年別 教育技術

技術 中学教育

ホーム スタイル 家庭の教育

振替口座東京二〇〇番 小学館

120円 130円 150円 150円 150円

課題研究Ⅱ 教科の本質と構造 (E204教室)

〈設定の趣旨〉

国内的には、教育課程の改定がすでに具体的な日程にのぼっている。

また、世界的には、科学技術革新という時代的な要請もある。

この時にあたり、問題をあくまで原理的・理論的に究明するため、たとえば、教科成立の根拠、教科間の関連・統合、教科内容の構造化、さらには、各教科教育と価値観の形成の問題など、現代学校教育学を構築するために考えるべき問題点は多い。

これらを明かにすることは今日の緊急の課題ではないかと考え、この課題研究を設定した。

司 会 者	国学院大学	富 田 竹三郎
	お茶の水女子大学	吉 田 昇
発 表 者	女子栄養大学	柴 田 義 松
	大阪市立大学	佐 藤 三 郎
	北海道大学	黒 田 孝 郎
	名古屋大学	上 田 薫
	埼玉大学	桑 原 作 次

日本教育方法学会のご発展を祈る

「家庭と教育」

A 5判/月刊/年1,400円(郵共) 人間教育の視点から、現代の教育現実を透映するユニークな月刊雑誌。

TOHO・BOOKS (新書判)

“学力時代”の教育

—ツメコミ競争のなかの子ども/その正しい教育のあり方—

280円 郵50円

新堀通也・吉本 均著

マスコミ・ツメコミ・学力を焦点に、今日の教育の問題点をえぐりだし、解明した

「現代教育学」の書。

子どもを読書ずきにする本

220円 郵45円

—学力の基礎づくり—

たかた・わたる著

豊富な実践体験のなかから、読書力ゆたかな子に育てる
すじみちをまとめあげた本。

株式
会社

東 方 出 版

広島市上八丁堀5番3号
電話(21)0742・振替広島3234